

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県三田市 新三田駅前駐車場

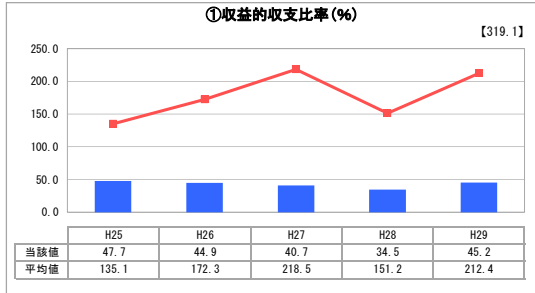
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	18	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	7,938
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
280	300	代行制

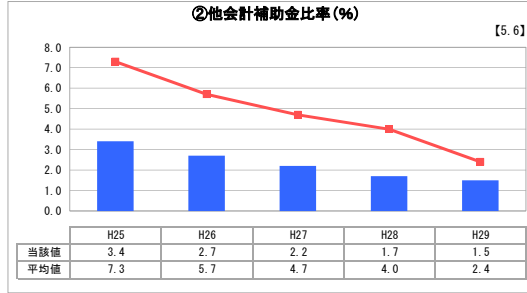
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 収益等の状況

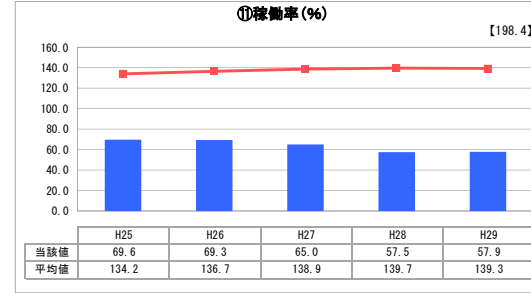


「経常損益」

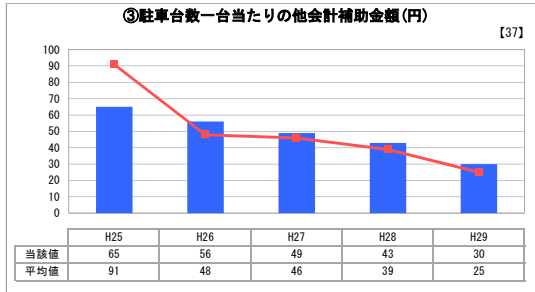


「他会計補助金割合」

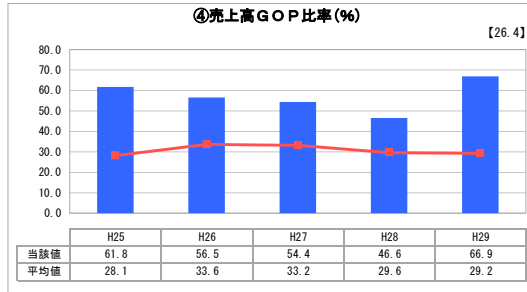
3. 利用の状況



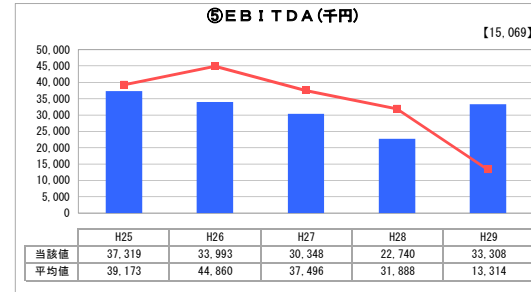
「施設の効率性」



「他会計補助金額」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑧敷地の地価(千円)

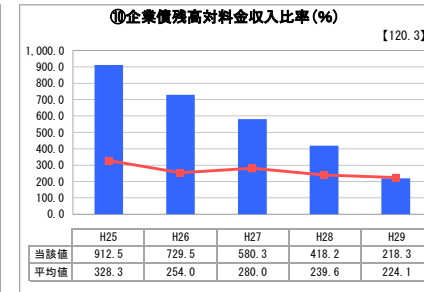
0

⑨設備投資見込額(千円)

20,000



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 平成32年度までは、地方債の償還金があり、収益的収支比率も低い数字となっている。よって、平成33年度以降については、収益的収支比率も改善が見込めると考えている。また、平成31年度以降については、新三田駅前において土地区画整理事業が行われており、収入増が期待できる現状である。

2. 資産等の状況について
 現在は、必要最低限の施設や機械設備等の更新等を行っている状況であり、大規模な改修等は予定していない状況である。今後も、引き続き、必要最低限での対応を実施していく予定である。

3. 利用の状況について
 定期利用や一時利用等、大きな増減なく利用いただいている。稼働率的には、60%前後で推移している。平成31年度以降については、新三田駅前において土地区画整理事業が行われており、利用者数増が期待できる現状である。

全体総括
 現在は、必要最低限の施設や機械設備等の更新等を行っている状況であるが、今後は長期的な収支の予測を行いながら、大規模な改修等を計画していく必要がある。現在、定期利用や一時利用等、大きな増減なく利用いただいている。平成31年度以降の新三田駅前において実施されている土地区画整理事業の動向も見ながら、今後も、引き続き、利用者数の増加に向けて取り組みを進め、健全経営につなげていく予定である。